

# KOBELCO

第155期

株主の皆様へ

平成19年4月1日～平成20年3月31日

 株式会社神戸製鋼所

# Top Message

ごあいさつ

神戸製鋼グループ企業理念のもと、  
企業の社会的責任を果たすとともに  
様々な課題にグループを挙げて  
取り組んでまいります。



代表取締役社長

犬伏 恭夫

## 連結売上高は、創業以来はじめて 2兆円を超える結果となりました。

株主の皆様には、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

まず、当社グループの第155期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)における取り組みならびに連結業績についてご報告申し上げます。

当期のわが国は、後半になって、住宅投資の落ち込みやエネルギー・原材料価格高騰の影響などから景気が減速傾向となり、それまで続いていた景気拡大基調に変化が見られました。海外においては、米国に景気減速感は見られましたが、アジアを中心とした新興国の成長がそれを呑みこんで、海外経済全体の成長を支えた一年でした。

こうした状況の中、当社グループは、事業競争力の強化を図るため、高炉の改修による粗鋼生産能力の向上や、溶解工場の増設をはじめとしたチタン製品生産能力の拡大、その他の事業分野でも国内外における生産・販

売拠点の増強などの投資を行なってまいりました。

各事業分野においては、これらを武器に積極的に需要の取り込みに努めました。中でも、企業価値向上のための施策の一つであるオンリーワン製品の拡販に注力し、当期においては、自動車用高張力鋼板、チタン製品、船用クランク軸、圧縮機、樹脂機械、天然ガスベースの直接還元製鉄プラントなどの売上高が着実に増加しました。

当期の連結業績については、売上高が、需要の好調な鉄鋼、建設機械などを中心に増加し、前期に比べ2,221億円増収の2兆1,324億円と創業以来はじめて2兆円を超える結果となりましたが、営業利益は、税制改正を受け減価償却方法を変更したことに伴う償却費の増加などにより、前期に比べ62億円減益の2,023億円となりました。また、経常利益は、高炉改修に伴う解体・廃却費用が発生したことなどから、前期に比べ253億円減益の1,579億円、税引き後の当期純利益は、子会社の一部事業の再構築にかかる特別損失を計上したことなどから889億円となりました。

当期の期末配当につきましては、1株につき3円50銭とさせていただきます。これにより、当期の配当は、先にお支払いいたしました中間配当と合わせて1株につき年7円となります。株主の皆様にはご理解を賜わりたいと存じます。

### 収益維持・改善努力の継続と、積極的な事業展開を目指します。

今後の見通しにつきましては、世界経済は、新興国の成長に牽引される形で全体として拡大を続けるものと予想されますが、米国経済の動向などには依然、注意が必要であり、足下減速している国内景気の回復時期も極めて不透明であります。加えて、エネルギー・原材料価格の急騰や鉄鋼原料需給の逼迫など懸念される要素もあります。

特に、原材料価格の急騰や鉄鋼原料需給の逼迫は想定以上の状況にあり、当社グループが直面する大きな問題です。当社グループとしましては、必要な鉄鋼原料の数量確保により、製品の供給責任を全うすること、そして、原材料価格の高騰への対応として、販売価格への反映、コストダウンや生産効率の向上などの収益維持・改善努力を継続することが、足下の重要課題と認識しております。

加えて、各事業分野を通じて、重点分野での需要の取り込みや、品質と生産性の向上などにも引き続き取り組んでいきたいと考えております。同時に、持続的な成長を実現するべく、オンリーワン製品の幅広いメニューやこれを支える技術など、当社グループの保有する経営資源を最大限活用することにより、国内外の市場に対し、積極的に事業展開を図っていくことも重要な課題

と考えております。

また、「神戸製鋼グループ企業理念」は、「信頼」「グループの和」「たゆまぬ変革」「価値の創造」といったキーワードから成り立っています。これらの理念を実現することは、すなわち、安全・防災の徹底、コンプライアンスをはじめとする内部統制システムに沿った事業運営、環境への配慮、社会との共生といった企業としての社会的責任を持続的に果たしていくことに他ならず、当社の経営における重要な課題です。

以上のように当社グループが取り組まねばならない課題は多く、楽観できる状況にはありませんが、将来の当社グループの進むべき方向性を見定める好機と考え、強い意志をもって、グループを挙げて取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

#### 神戸製鋼グループ企業理念

当社グループは、下記の企業理念のもと、株主・投資家、顧客や取引先、従業員、地域社会など、あらゆるステークホルダーの皆様に対して、企業としての社会的責任を全うできるよう努力を続けることにより、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します
2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます
3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します

# 事業分野 Business Field



「オンリーワン製品」の創出に向けて

# Financial Report

## 業績のご報告

### 財務ハイライト

売上高

**2兆1,324 億円**  
(前期比 +11.6%)

■ 単独  
■ 連結



1株当たり  
当期純利益

**29.62 円**

■ 単独  
■ 連結



経常利益

**1,579 億円**  
(前期比 -13.8%)

■ 単独  
■ 連結



総資産

**2兆3,290 億円**

■ 単独  
■ 連結



当期純利益

**889 億円**  
(前期比 -18.9%)

■ 単独  
■ 連結



純資産

**6,477 億円**

■ 単独  
■ 連結



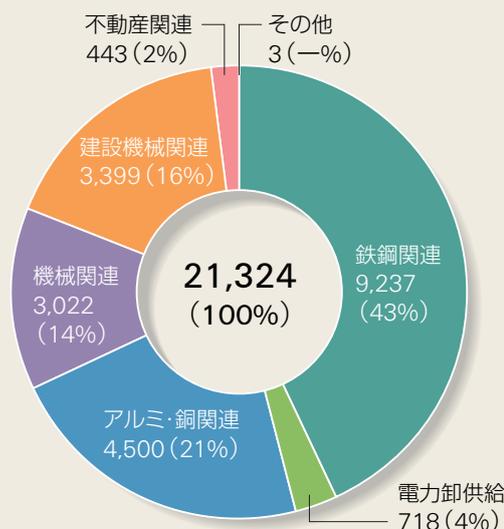
(表示金額は、単位未満の数字を切り捨てております。)

### 当期の概況

当期のわが国経済は、前半は、企業収益が高水準で推移する中、民間設備投資が引き続き増加し、雇用者所得が緩やかな増加を続けるもとで、個人消費が底堅く推移するなど、景気は緩やかに拡大いたしました。しかしながら、後半は、住宅投資の落ち込みやエネルギー・原材料価格高騰の影響などから、景気は減速いたしました。一方、海外においては、米国に減速感は見られるものの、アジアを中心に経済が拡大いたしました。

当期の連結業績は、売上高が、需要の好調な鉄鋼、建設機械などを中心に増加し、前期に比べ2,221億円増収の2兆1,324億円となりましたが、営業利益は、税制改正を受け減価償却方法を変更したことに伴う償却費の増加などにより、前期に比べ62億円減益の2,023億円となりました。また、経常利益は、高炉改修に伴う解体・廃却費用が発生したことなどから、前期に比べ253億円減益の1,579億円、税引き後の当期純利益は、子会社の一部事業の再構築にかかる特別損失を計上したことなどから889億円となりました。

セグメント別売上高(平成19年度) (単位:億円)



(注)「その他」には「電子材料・その他の事業」の売上高607億円とセグメント間の内部売上高等の消去額-604億円が含まれておりますので、上記円グラフ「その他」の金額は3億円となっております。

## セグメント別の概況 (枠内の数字は売上高を記載しています)



### 鉄鋼関連事業

9,237 億円  
(前期比 +11.2%)



国内・海外とも鋼材需要は拡大し、好調に推移しました。

- 鋼材需要が国内外ともに好調に推移し、鋼材出荷数量は前期比増。
- 販売価格は、特殊鋼を中心に値上げを実施し、前期比上昇。
- 鋳鍛鋼品、チタン製品ともに売上高は前期比増。
- 溶接材料は、需要が堅調で、売上高は前期比増。
- この結果、売上高は前期比11.2%増の9,237億円。

- 営業利益は、減価償却方法の変更影響などにより、前期比26億円減益の919億円。



加古川製鉄所 厚板工場



### 電力卸供給事業

718億円  
(前期比 +7.5%)



安定操業と収益の確保に  
努めています。

- 現在、神鋼神戸発電所では、最大出力140万キロワットの電力を供給。
- 売上高は、前期比7.5%増の718億円も、電力単価に転嫁される石炭価格の上昇によるものであり、営業利益は前期並みの180億円。



神鋼神戸発電所(タービン棟)



### アルミ・銅関連事業

4,500億円  
(前期比 +13.3%)



重点分野である自動車、IT関連  
向けは好調に推移しました。

- アルミ圧延品販売量は、飲料用缶材が好調、自動車向け部品材、エアコン用フィン材も堅調に推移し、前期比増。
- 銅圧延品販売量は、銅板条が堅調に推移も、空調用銅管が減少し、前期比減。
- アルミ鋳鍛造品は、自動車向け鍛造品の増加により、売上高は前期比増。
- 売上高は、販売量の増加、地金価格高騰による販売価格上昇により前期比13.3%増の4,500億円。
- 営業利益は、地金の在庫評価影響が減少し、前期比126億円減益の220億円。



アルミ板コイル



### 機械関連事業

3,022億円  
(前期比 +7.6%)



受注高は、前期比10%増の  
3,397億円、当期末受注残高は  
3,775億円と受注環境は好調です。

- 国内向け受注高は、圧縮機、圧延機械などが堅調も、環境分野で大型案件受注がなく前期比13%減の1,575億円。
- 海外向け受注高は、大型のペレットプラントや酸素製造装置を受注、圧縮機や樹脂機械、石油精製用の高圧容器などの受注が高水準で推移し、前期比43%増の1,821億円。
- 営業利益は前期比83億円増益の305億円。



ボイルオフガス用超低温圧縮機



## 建設機械関連事業

3,399 億円  
(前期比 +19.1%)



中国市場の活況の影響などにより好調に推移しました。

- 油圧ショベルの国内市場は、前半は好調も、後半は住宅投資の落ち込みから需要の拡大に減速傾向。海外は、米国市場を除き、中国市場を中心に総じて好調に推移。
- クレーン市場は、北米や中東、東南アジアを中心に旺盛な需要が継続。
- 当事業の売上高は前期比19.1%増の3,399億円、営業利益は前期比80億円増益の228億円。



シティコンシャスクレーン  
PANTHER-X250



## 不動産関連事業

443 億円  
(前期比 +7.1%)



不動産事業・プロパティマネジメント事業とも安定した事業運営に努めました。

- 当事業の売上高は、不動産販売事業を中心に前期比7.1%増加し443億円。
- 営業利益は、賃貸事業における一時的な費用の増加などにより、前期に比べ3億円減益の49億円。



フェリシオ塚口

電子材料・  
その他の事業

607 億円  
(前期比 -4.5%)



配線膜用ターゲット材は減少したものの、試験分析事業は好調に推移しました。

- 輸送機・エレクトロニクス業界向けを中心に試験分析事業は好調に推移。
- 液晶ディスプレイの在庫調整の影響、代替素材との競合により、配線膜用ターゲット材の販売量の減少影響大。
- 売上高は前期比4.5%減の607億円、営業利益は前期に比べ61億円減益の81億円。



低温ポリシリコン薄膜評価装置

# Information



## 工場見学会のご案内

当社は株主の皆様へ当社へのご理解を一層深めていただくために、引き続き株主様工場見学会を実施いたします。今回ご覧いただく工場は、加古川製鉄所（兵庫県加古川市）でございます。つきましては、下記の内容にて開催いたしますので、ご案内申し上げます。

見学製鉄所：加古川製鉄所  
（兵庫県加古川市金沢町1）

対象者：平成20年3月31日現在、当社株式  
1,000株以上をご所有の株主様



### 工場見学会の概要

申込番号	実施日時 (平成20年)	集合場所	集合時間	解散場所・予定時間
①	11月1日(土)	JR加古川駅近辺	8:30	JR加古川駅近辺13:00頃
②	11月1日(土)	JR三ノ宮駅近辺	12:15	JR三ノ宮駅近辺18:00頃
③	11月2日(日)	JR加古川駅近辺	8:30	JR加古川駅近辺13:00頃
④	11月2日(日)	JR三ノ宮駅近辺	12:15	JR三ノ宮駅近辺18:00頃

※詳細は、ご招待状にてご連絡させていただきます。

募集人数：300名(各回75名)※募集人数には同伴者を含みます。

※応募人数が多い場合には抽選とさせていただきます。

予めご了承くださいませようようお願い申し上げます。

抽選となった場合は、8月発送予定の第1四半期の業績報告のご通知の際に、その旨をご連絡いたします。

応募方法：同封のはがきに必要な事項をご記入のうえ、ご返送ください。

【締切日：平成20年7月31日(木)当日消印有効】

参加費：無料

※ただし、集合・解散場所（JR神戸線 三ノ宮駅または加古川駅）までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。

昼食：軽食とお飲み物をご用意させていただきます。

お問合せ先

株式会社神戸製鋼所 法務部 工場見学会係

TEL 078-261-4066

受付時間 10:00～17:00(土・日、祝日を除く)

## 株主様工場見学会開催のご報告

平成20年3月1日、3月2日の2日間にわたり、株主様工場見学会を当社加古川製鉄所（兵庫県加古川市）にて開催いたしました。当日は、全国各地よりご応募いただきました約3,900通の中から、抽選により当選された219名の株主様および同伴者様に、原料ヤード、昨年稼働を再開しました第2高炉、厚板工場および防じんネットをご見学いただき、また、当社グループの事業の概要などをご説明させていただきました。

当社といたしましては、より多くの株主様に当社グループの事業をご理解いただけるよう、今後もこうした活動に取り組んでまいりたいと考えております。



工場見学会の様子

### 2007 (平成19年)

5月

#### 鉄鋼関連事業

#### 珪素を吸着・浄化する鉄粉を開発・商品化

珪素を高い効率で吸着・浄化する鉄粉を開発・商品化いたしました。工場・温泉排水、地下水等の浄化を目的としたもので、本鉄粉を入れた容器に珪素汚水を流すだけで、珪素含有濃度を環境基準値(飲料水基準値)まで浄化することが可能になりました。

#### 石炭エネルギープロジェクト

#### 「改質褐炭(低品質石炭の高品質化)」に関する大型実証設備の建設着工

インドネシアにおける「改質褐炭(低品質石炭の高品質化)」プロジェクトの大型案件に着手いたしました。同プロジェクトは、インドネシアに豊富に存在しながら水分が多いため利用が進んでいない低品質炭(褐炭など)を改質・高品質化し、主に電力用途で使用するのが狙いです。同プロジェクトは、2010年度からの商業化を目指しています。



改質褐炭プロジェクト 実証設備着工式

6月

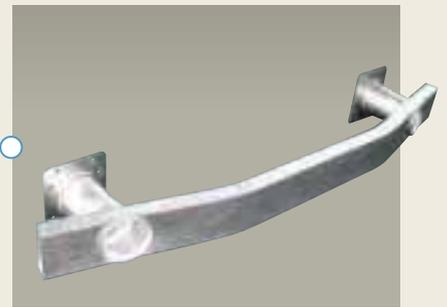
#### ◎次世代製鉄法「ITmk3(アイティ・マークスリー)」プロセスのマーケティング活動について クリーブランド・クリフス社とアライアンス契約を締結

7月

#### アルミ・鋼関連事業

#### 世界初、電磁成形でバンパーとステイを一体化

世界で初めてアルミバンパーとステイを電磁成形によって「かしめ」で接合し、一体部品とした「貫通型アルミバンパーシステム」を開発いたしました。従来はバンパービームにステイを溶接していましたが、新型バンパーではステイのパイプ部をバンパービームに貫通させ、パイプ端部を電磁成形でパイプの縁を広げることによって接合する方法(かしめ)により、溶接加工を不要とし、軽量化と低コスト化が可能になりました。



貫通型アルミバンパーシステム成型品

9月

#### ◎溶接カンパニー欧州拠点の生産を拡大

11月

#### ◎次世代製鉄法「ITmk3(アイティ・マークスリー)」プロセスの商業機第一号プロジェクトを開始

#### ◎中国におけるマグネシウム地金製造会社への資本参加

○鉄鋼関連事業

●電力卸供給事業

○アルミ・銅関連事業

○機械関連事業

○建設機械関連事業

●不動産関連事業

●電子材料・その他の事業

11月 ●米国プロテック・コーティング社が  
マルコム・ボールドリッジ賞(米国国家経営品質賞)受賞

●中国・浙江省に特殊鋼線材の二次加工拠点設立

12月 ●チタン新溶解工場竣工

鉄鋼関連事業

### 神戸製鉄所第3高炉の再稼動

短期改修工事の終了した神戸製鉄所第3高炉は、12月16日に火入れ式を行ない、再稼動いたしました。新第3高炉は、国内唯一のオールペレット操業に適した炉体形状とするため、炉口径・炉腹径を広げ、炉内容積を2,112m<sup>3</sup>に拡大しました。これにより、粗鋼生産能力が向上し、炉体形状の最適化による通気性改善効果により燃料原単位の低減が可能になりました。



神戸製鉄所第3高炉 火入れ式

2008 (平成20年)

1月

関連会社

### 高性能アルミ製吸音パネル 「アルミ箔エコキューオン」を初受注

当社グループの子会社である神鋼建材工業株式会社と当社が共同開発し、2007年に発売を開始した、高性能アルミ製吸音パネル「アルミ箔エコキューオン」の受注が相次いで決定しています。本製品は、製造業向け、エネルギー産業向け、その他にも公共交通機関向けで、いずれも防音壁として採用されております。本製品を設置する前と後で騒音レベル実測値を比較すると、騒音エネルギーを77%~96%低減する効果を得ています。



高性能アルミ製吸音パネル  
「アルミ箔エコキューオン」を使用した防音壁

### ●高機能抗菌めっき技術「KENIFINE(ケニファイン)」 の水産養殖設備への採用拡大

機械関連事業

### 冷熱・温熱同時取出しが可能な「ハイエフミニ・高効率 高温取出機(HRシリーズ)」を開発・販売

ビルや工場等の冷房用熱源機である高効率小型水冷インバータスクリュチャー「ハイエフミニ(冷房能力528kW)」の用途拡大機種として、業界で初めて70℃までの温熱取出し機能と高温で高効率な循環加温機能を追加した新製品「ハイエフミニ・高効率高温取出機(HRシリーズ)」を開発いたしました。本製品は、本年4月より販売を開始しています。



ハイエフミニ・高効率高温取出機

KOBELCO Only One Products

“オンリーワン製品”

実績レポート!



機械関連事業

## 世界市場で40%以上のシェアを獲得!!

石油化学メーカーから絶大な信頼を得た  
高性能<LCM>の実績を検証。



### プラスチック製造用大型混練造粒機

高度技術の集合体を生み出した、  
独自の「モノづくり力」。

LCMとは、石油から分離精製されるさまざまなプラスチック材料をペレット状に加工する装置。連続使用に耐えるタフネスさと高品質ペレットを短時間で大量に製造する高生産能力が求められます。当社のLCMは、独自の技術力を高次元で組み合わせることにより、年間約8,000時間の連続使用に耐えると共に、1時間に約55トンの高度な生産能力を実現しました。お客様である石油化学メーカーからの絶大な信頼を獲得し、特にポリエチレン向けにおいて、世界トップシェアを確立しています。



完成ペレット

ローター

年々拡大する<LCM>市場を背景に、  
業績の向上に大きく貢献。

2004年度におけるプラスチックの世界生産量は約2.2億トン。その内LCMが対象となるポリエチレンやポリプロピレンは、40%強を占めています。1986年のLCM第1号機納入以来、受注累計は173セット。1セットにつき5~20億円で、今までの総売上は1,000億円を超えている計算となります。世界的な市場規模も年々拡大の傾向にあり、年間約200億円程度の売上が見込まれ、当社グループの業績向上に大きく貢献。大きな事業規模をとまなうオンリーワン製品です。

■売上の推移



当社グループ伝統の「モノづくり」精神が生んだ、「オンリーワン製品」の数々。これら独自の高付加価値製品は、グローバルなマーケットで高い評価を得ると共に、高いシェアを獲得し、グループ総合力の向上に大きく貢献しています。

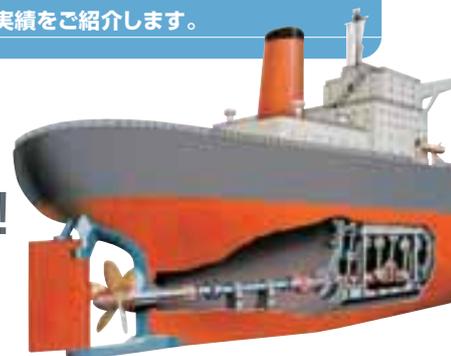
また、「2006-2008年度グループ中期経営計画」の最終年度である本年度末には、売上高に占める比率を40%以上にまで高めるため、さらなる拡充と強化に努めています。ここでは、世界に誇る独自の「オンリーワン製品」の実績をご紹介します。



## 鉄鋼関連事業

# 1970年代以降、世界No.1シェアを確保!!

世界の海を股にかける中・大型船舶の  
約2.5隻に1隻が搭載。



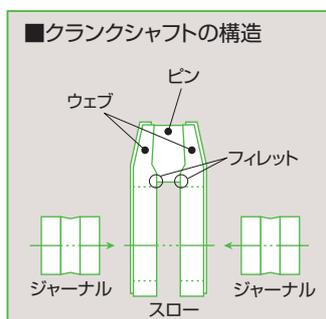
## 船舶用大型クランクシャフト

### 加工精度と強靭性を高めた、独自の「**鋳鋼・組立型クランク軸**」を開発。

クランクシャフトとは、ピストン運動を回転運動に変える道具で、大型船舶のスクリューに動力を伝達する大切な役割を果たしています。「ジャーナル」という回転軸と「スロー」というピストンにつながる2つの部分から構成され、工法は「組立型」と「一体型」に大別されます。当社が独自開発した「鋳鋼スロー製・組立型クランク軸」は、作動の際に大きな力がかかる「スロー」部分に、世界で初めて鋳鋼を採用。極めて高い加工精度、超高度な強靭性を実現した、オンリーワン・ナンバーワン製品です。



大きなものだと1本の重さが380トンにも。船のエンジンルームでこれが回転します。



### 中国の造船需要が拡大する中、**確固たる世界トップシェア**を獲得。

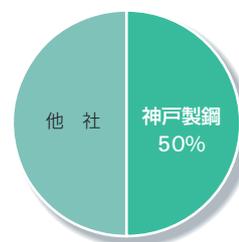
世界で組立型クランクシャフトを製造するメーカーは、当社を含めて日本で3社、海外で10社程度あります。当社のシェアは、組立型で約40%、一体型で約50%を獲得。世界中の1万から2万トンを超える中・大型船舶の約2.5隻に1隻は、当社のクランクシャフトを搭載している計算になります。もちろん世界トップシェアで、1970年代以降常に第1位を継続中。さらに現在、中国では経済の急成長を背景に大造船ブームが到来し、供給が追いつかないほど需要が伸長しています。

船舶用クランクシャフトの世界シェア(2007年度) ※当社推定

組立型クランクシャフト



一体型クランクシャフト



# 環境への取組みと 社会との共生

神戸製鋼グループは『環境経営基本方針』を策定し、事業活動のあらゆる面で環境に配慮する環境経営の推進に努めています。

## ■環境経営基本方針

### 『グループ環境経営の実践による企業価値向上』

神戸製鋼グループは、環境先進企業グループを目指して

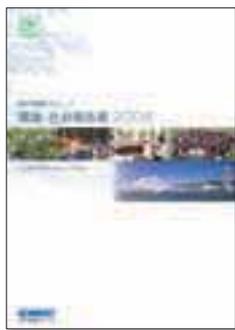
1. 環境に配慮した生産活動
2. 製品・技術・サービスでの環境への貢献
3. 社会との共生・協調

を実践することにより、社会的責任を果たすとともに、企業価値を高める。

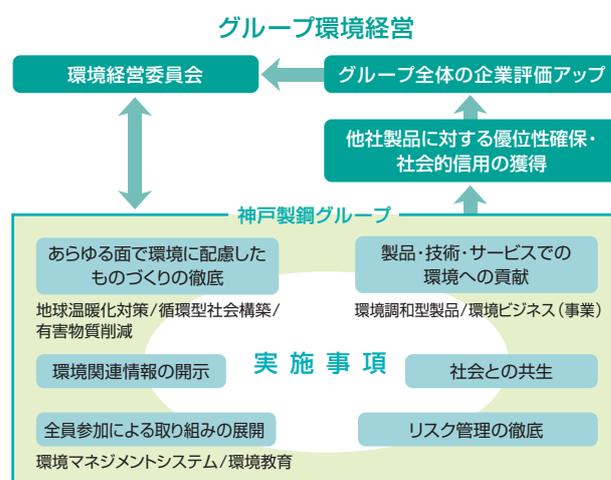
## ■実施事項

グループ環境経営を推進していくため、2006年度から2008年度の中期環境経営計画を策定し、現在、6つの実施事項「あらゆる面で環境に配慮したものづくりの徹底」、「製品・技術・サービスでの環境への貢献」、「環境関連情報の開示」、「社会との共生・協調」、「全員参加による取り組みの展開」、「リスク管理の徹底」について展開しています。

これらの活動については、「神戸製鋼グループ 環境・社会報告書」などで開示し、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションに努めています。



神戸製鋼グループ  
環境・社会報告書2008



## ■スクリュ式小型蒸気発電機「M.S.E.G.」が日本産業技術大賞の内閣総理大臣賞を受賞

このたび(株)神戸製鋼所、神鋼商事(株)、神鋼造機(株)、(株)ティエルプイがスクリュ式小型蒸気発電機「M.S.E.G.」で、その高い省エネ性能を評価され、日本産業技術大賞の内閣総理大臣賞を受賞しました。「M.S.E.G.」は、ボイラから大気放出され有効利用されていない余剰蒸気や、さまざまな生産プロセスで無駄に消費されていた、減圧時の蒸気エネルギーを有効に活用するもので、多くの中小規模の工場などへの適用が期待されています。



日本産業技術大賞の内閣総理大臣賞を受賞する水越会長(2008年4月)

## 社会貢献への取組み

### 体感型学習施設「灘浜サイエンススクエア」

「灘浜サイエンススクエア」は、製鉄・発電・エネルギー・環境をテーマに、科学や技術の面白さや不思議さを遊びながら学ぶ体感型学習施設です。小中学生の校外学習や地域の皆様の交流の場として人気が高く、2004年4月に開館以来、23万人を超える来館者をお迎えしています。科学実験の実演や、自然に親しみ、環境を大切にしたい気持ちを育む「自然教室」、その他「工作教室」などのイベントも開催しています。

2008年4月に、当施設が小中学生への環境・エネルギー学習に貢献していること、地域や社会との環境コミュニケーション構築に寄与していることなどが高く評価され、第17回「地球環境大賞」の文部科学大臣賞を受賞しました。



ホームページ <http://www.nadahama.jp>  
開館：9:30～16:30（入館は16:00まで）  
休館日：月曜日（祝日の場合翌平日）、年末年始  
入館料：無料  
住所：神戸市灘区灘浜東町2番地  
TEL：078（882）8136

## ラグビーを通じての活動

### 特定非営利活動法人 「日本せきずい基金」への募金

2001年度より試合会場にて、特定非営利活動法人「日本せきずい基金」への募金活動を行なっています。2007年10月24日には、2006-2007年度シーズンに集まった寄付金を東京都障害者福祉会館にて贈呈いたしました。

### Kobe Green Movement 2008 兵庫県県民まちなみ緑化事業に参加

2008年2月21日、Kobe Green Movement 2008 兵庫県県民まちなみ緑化事業にコベルコスティーラーズの選手が参加いたしました。このイベントは、植林により緑を増やすことで地球環境改善活動を行ない、同時に子供達に国際健全教育の一環として、木にふれあひながら自然の大切さや思いやりを勉強するというイベントです。

### 新潟県にて児童養護施設を訪問

2007年11月18日に開催されましたトップリーグ第4節の翌日に、児童養護施設（2施設）にコベルコスティーラーズの選手が訪問いたしました。子供達は、普段見ることのない大きな選手達に最初は驚いていましたが、ラグビーボールを使って遊んだりすることで、楽しい時間を過ごすことができました。

### ラグビーの普及活動

ラグビー普及活動の一環として、コベルコスティーラーズの選手が小中高生を対象に多数のラグビースクールを訪問し、指導いたしました。

また、ラグビー体験教室を通じて、未経験者の親子にもラグビーの楽しさを体験していただきました。

その他「全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会」を北海道夕張市にて開催するなど、ラグビーの普及活動を行なっています。

# Corporate Data

## 連結子会社および持分法適用会社 [215社]

(平成20年3月31日現在)

### ■鉄鋼関連事業:62社

日本高周波鋼業株式会社、神鋼特殊鋼管株式会社、  
神鋼建材工業株式会社、神鋼物流株式会社、神鋼ボルト株式会社、  
株式会社テザックワイヤロープ、堺鋼板工業株式会社、  
株式会社神鋼エンジニアリング&メンテナンス、神鋼総合サービス株式会社、  
KOBUEルディングワイヤ株式会社、エヌアイエル株式会社、  
コウベ ウェルディング オブ コリア カンパニー リミテッド、  
※株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ、  
※神鋼鋼線工業株式会社、※関西熱化学株式会社 他

### ■電力卸供給事業:1社

神鋼神戸発電株式会社

### ■アルミ・銅関連事業:28社

株式会社コベルコ マテリアル銅管、神鋼リードミック株式会社、  
サン・アルミニウム工業株式会社、神鋼ノース株式会社、  
神鋼メタルプロダクツ株式会社、  
コウベ プレシジョン テクノロジー センディリアン ベアヘッド、  
シンガポール コウベ プライベート リミテッド、  
コウベ エレクトロニクス マテリアル(タイランド)カンパニー リミテッド 他

### ■機械関連事業:43社

株式会社神鋼環境ソリューション、コベルコ・コンプレッサ株式会社、  
神鋼造機株式会社、神鋼電機株式会社、株式会社アーステクニカ、  
※コンプレホ シデルルヒコ デ グアジャナ セーアー 他

### ■建設機械関連事業:47社

コベルコ建機株式会社、コベルコクレーン株式会社 他

### ■不動産関連事業:8社

神鋼不動産株式会社 他

### ■電子材料・その他の事業:26社

株式会社コベルコ科研、神鋼JFE機器株式会社、  
コウベ スチール USA ホールディングス インコーポレーテッド、  
※神鋼商事株式会社、※ジェネシス・テクノロジー株式会社、  
※日本メディカルマテリアル株式会社 他

(注) 1. ※印は持分法適用会社であります。

(注) 2. 平成20年4月1日付で、株式会社アーステクニカの当社保有株式を川崎重工業株式会社に全部譲渡いたしました。

## 取締役および監査役、執行役員

(平成20年6月25日現在)

取締役会長(代表取締役)  
水越 浩士

取締役社長(代表取締役)  
犬伏 恭夫

### ■本社

取締役副社長(代表取締役)  
佐藤 廣士  
取締役副社長(代表取締役)  
小山 敬治  
専務取締役  
松谷 高志

常務執行役員  
川田 豊  
常務執行役員  
藤原 寛明  
執行役員  
泉 博二

執行役員  
沖田 誠治  
執行役員  
関 勇一

### 【鉄鋼部門】

取締役副社長(代表取締役)  
※賀屋 知行  
専務執行役員  
大西 功一  
専務執行役員  
村瀬 敬一  
常務執行役員  
阿部 央道

常務執行役員  
山口 育廣  
常務執行役員  
公文 康進  
執行役員  
木村 雅保  
執行役員  
川崎 博也

執行役員  
津村 拓良  
執行役員  
塚本 晃彦  
執行役員  
尾上 善則

### ■溶接カンパニー

専務取締役  
※藍田 勲

執行役員  
柏谷 強

### ■アルミ・銅カンパニー

専務取締役  
※中山 裕之  
常務執行役員  
高橋 徹

常務執行役員  
下村 良介  
執行役員  
濱中 龍介

### ■機械エンジニアリングカンパニー

専務取締役  
※重河 和夫  
常務執行役員  
田中 順

常務執行役員  
毛利 修三  
執行役員  
植木 一秀

### ■社外取締役

取締役  
中野 淳司

取締役  
土居 征夫

(注) ※印は、鉄鋼部門長および各カンパニーのプレジデントであります。

監査役(常勤)  
浅岡 徹  
監査役(常勤)  
大越 年祝

監査役(社外監査役)  
金子 崇輔  
監査役(社外監査役)  
池田 義一

監査役(社外監査役)  
佐々木 茂夫

## 会社の概要

(平成20年3月31日現在)

- 創 立 明治38年9月
- 資 本 金 2,333億1,324万8,065円
- 発行済株式総数 31億1,506万1,100株
- 株 主 数 251,849名
- 従 業 員 数 9,467名

## 事業所

神戸本社 〒651-8585 神戸市中央区脇浜町二丁目10番26号

☎078(261)5111(大代表)

東京本社 〒141-8688 東京都品川区北品川五丁目9番12号

☎03(5739)6000(大代表)

支 社 大阪・名古屋

支 店 北海道(札幌市)・東北(仙台市)・

新潟(新潟市)・北陸(富山市)・

四国(高松市)・中国(広島市)・

九州(福岡市)・沖縄(那覇市)

海外事務所 ニューヨーク・デトロイト・シンガポール・北京・上海

(注)「海外事務所」には現地法人を含めております。

研 究 所 神戸

製鉄所・工場 <鉄鋼・溶接部門> 加古川・神戸・高砂・藤沢・茨木・西条

<アルミ・銅部門> 真岡・長府・大安

<機 械 部 門 > 高砂・播磨

## 株主メモ

事 業 年 度 4月1日～翌年3月31日

定 時 株 主 総 会 6月

基 準 日

定時株主総会 3月31日

剰余金の配当 期末 3月31日

中間 9月30日

(その他必要のあるときはあらかじめ公告します。)

公 告 方 法 電子公告(当社ホームページをご覧ください。)

<http://www.kobelco.co.jp>

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

郵便物送付および電話照会先

〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

☎0120-094-777(通話料無料)

※名義変更、住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求および株式の相続手続に必要な届出用紙のご請求は、☎0120-684-479(通話料無料;24時間自動音声応答サービス)でも承ります。

## 「株券電子化」について

上場会社の「株券電子化」は、2009年（平成21年）1月実施で準備中です。  
（株券電子化後は、株券が「無効」になります）

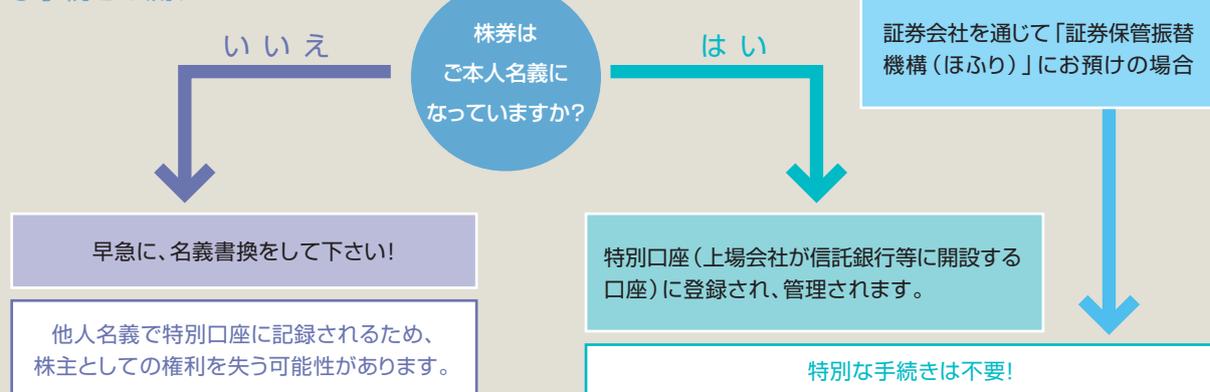
「株券電子化」とは？

法令により、上場会社の株券そのものが無効になり、帳簿上で株主様のお名前、ご住所、ご所有株式数等を電子的に管理する新しい制度に切り替わることを「株券電子化」といいます。

「株券電子化」のメリットは？

株券の紛失・盗難の可能性がなくなります。また、株券の名義書換を忘れるということもなくなり、株主様としての権利を受けられないリスクがなくなります。

### ●手続きの流れ



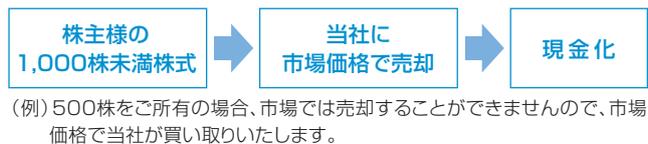
株券電子化の時期が近づくこと、信託銀行・証券会社等の窓口が大変混雑することが予想されますので、名義書換等の手続きはできるかぎり早急にお済ませください!! **なお、「特別口座」では株式の売買はできません。株式を売買するには、電子化前に証券会社に株式をお預けいただくか、電子化後に「特別口座」から証券会社の口座に振替をしていただく必要があります。**

株式に関するお手続きにつきましては、最終ページをご覧ください。

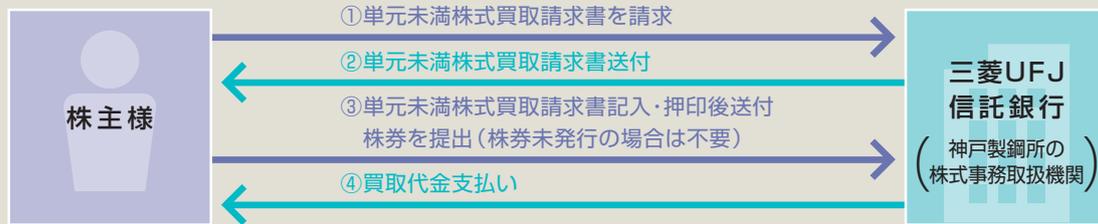
## 単元未満株式「買取・買増制度」について

### 単元未満株式買取制度とは？

証券取引所で売買できない1,000株未満の株式（単元未満株式）をご所有の場合、**当社に対して市場価格で売却することができる制度です。**



### ●手続きの流れ



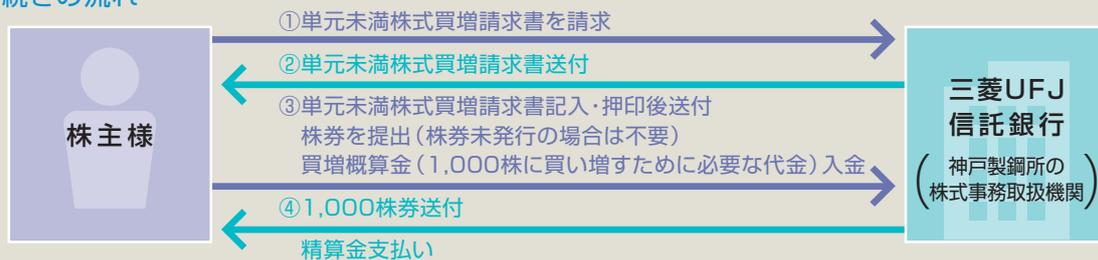
※「証券保管振替制度」をご利用の株式につきましては、お取引先証券会社にお問い合わせください。

### 単元未満株式買増制度とは？

証券取引所で売買できない1,000株未満の株式をご所有の場合、合わせて1,000株にするのに必要な株式を**当社から市場価格で買い増しすることができる制度です。**



### ●手続きの流れ



※「証券保管振替制度」をご利用の株式につきましては、お取引先証券会社にお問い合わせください。

株式に関するお手続きにつきましては、最終ページをご覧ください。

## 株式に関するお手続きのご案内

当社の株式に関するお手続きは、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にて承っております。  
当社株式に関してお困りのときはお気軽にダイヤルを!!

☎0120-094-777 (通話料無料)

### 株式に関する手続用紙のご請求

株式に関する手続用紙(名義変更、住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求および株式の相続手続に必要な届出用紙)のご請求につきましては、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットにより、24時間受付しておりますので、ご利用ください。

■受付番号：☎0120-684-479  
(通話料無料・24時間自動音声応答サービス)

■インターネットアドレス：  
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

※「証券保管振替制度」をご利用の株式につきましては、お取引先証券会社にお問い合わせください。

※郵便物送付先

〒530-0004  
大阪市北区堂島浜一丁目1番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

※当社株式に関する電話お問合せ先

●お問合せ先  
☎0120-094-777  
(通話料無料・オペレーターがお伺いいたします)

●手続用紙のご請求  
☎0120-684-479  
(通話料無料・24時間自動音声応答サービス)

※お電話でのお問合せは、配当金支払い期間中などの場合、大変混み合うことがあり、つながりにくくなる可能性があります。ご了承ください。

# KOBELCO

インターネット ホームページ <http://www.kobelco.co.jp>



この「株主の皆様へ」は環境に配慮し、無塩素漂白による、古紙リユース15%、糖林木・間伐材リユース85%と、大豆油インキを使用しています。